

災害等情報（詳報）

鉱種：石灰石	鉱山の所在地：大分県					
災害等の種類： 坑外・火災のため	発生日時： 平成30年11月22日（木） 18時02分頃	罹災者数	死	重	軽	計
						0
罹災者 年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、担当職経験年数： なし						
罹災程度：該当なし						
<p>【概要】</p> <p>災害当日、作業員Aは15時00分より穿孔機の始業点検を実施し、異常が無いことを確認後、穿孔作業を実施していた。</p> <p>18時02分頃、5孔目の、3本目のロッドを繋いで穿孔作業中に、コンプレッサーエアの圧力が急上昇し、ゲージの目盛りを振切ったことを確認した。一旦ロッドを上げるためロッドの方を見た時、車体周辺が明るくなり煙が出ていることに気づいた。</p> <p>周辺にいた輸送車の運転手も穿孔機からの出火を確認し、作業責任者へ無線で連絡した。作業員Aは退避する旨作業責任者へ連絡し、エンジンを切って降車した。連絡を受けた作業責任者は、散水車で消火するよう指示し、18時15分頃、近隣鉱山からの応援を受けて計3台の散水車が到着し、放水を行った。</p> <p>その後、18時40分頃に鎮火を確認した。</p>						
<p>【原因】</p> <p>○電気配線の劣化によりショートして出火し、その火によって上方の油圧ホースが延焼して油圧ホース内約2MPaのオイルが飛散し、オイルに引火したため火災が広がったと推定。（ただし、電気配線と油圧ホースは接触していなかった。）</p>						
<p>【対策】</p> <p>○鉱山内の各重機において、始業点検、月次点検、年次点検における火災予防の点検項目を重機メーカーと相談して洗出しの上、必要に応じて点検項目等を見直し、確実に実施することで重機管理を強化・徹底する。</p> <p>○油圧ホースを含めコンプレッサーライン3本の高圧ホースに耐火オイル飛散防止カバーを取り付ける。</p>						
<p>【参考情報等】</p> <p>○車両系鉱山機械については、始業時、月次等、定期的に点検を行いましょう。</p> <p>○火災を防止するため、消火栓、消火器、消火用砂その他の消火設備は、適切に設けましよう。</p> <p>○鉱山保安法令及び労働安全衛生法令における参考規定は以下のとおりです。</p>						

< 鋳山保安法令 >

- ・ 巡視及び点検（施行規則第 26 条第 3 号）
- ・ 車両系鋳山機械（技術基準省令第 10 条）

< 消防法令 >

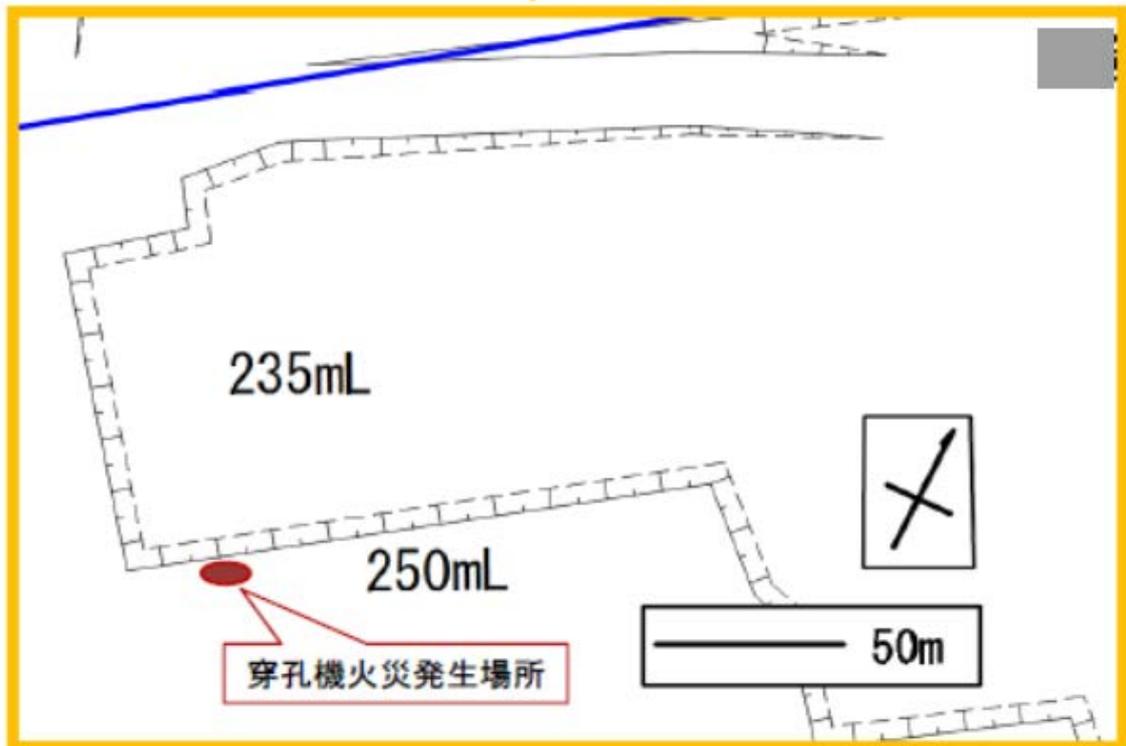
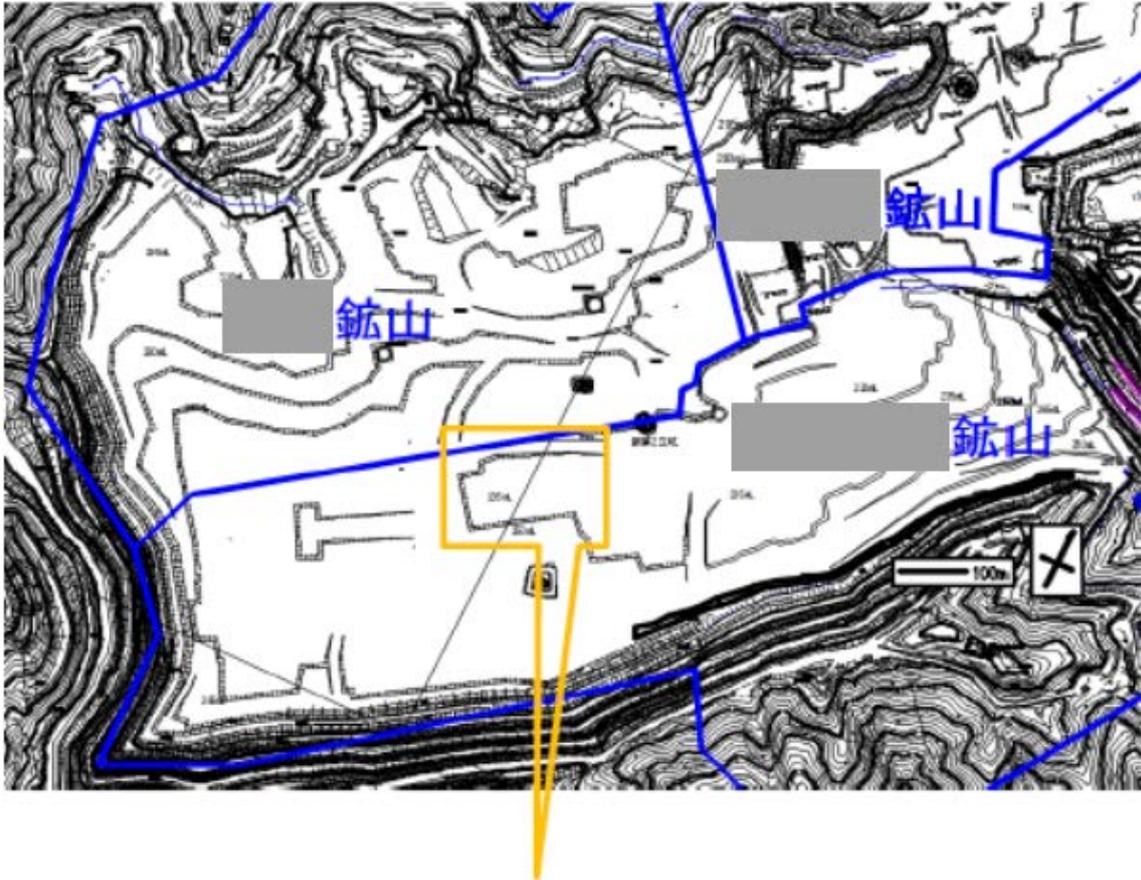
- ・ 応急消火義務等（法第 25 条）

【お問い合わせ先】

九州産業保安監督部 鋳山保安課 山本、栗原

電話番号：092-482-5931

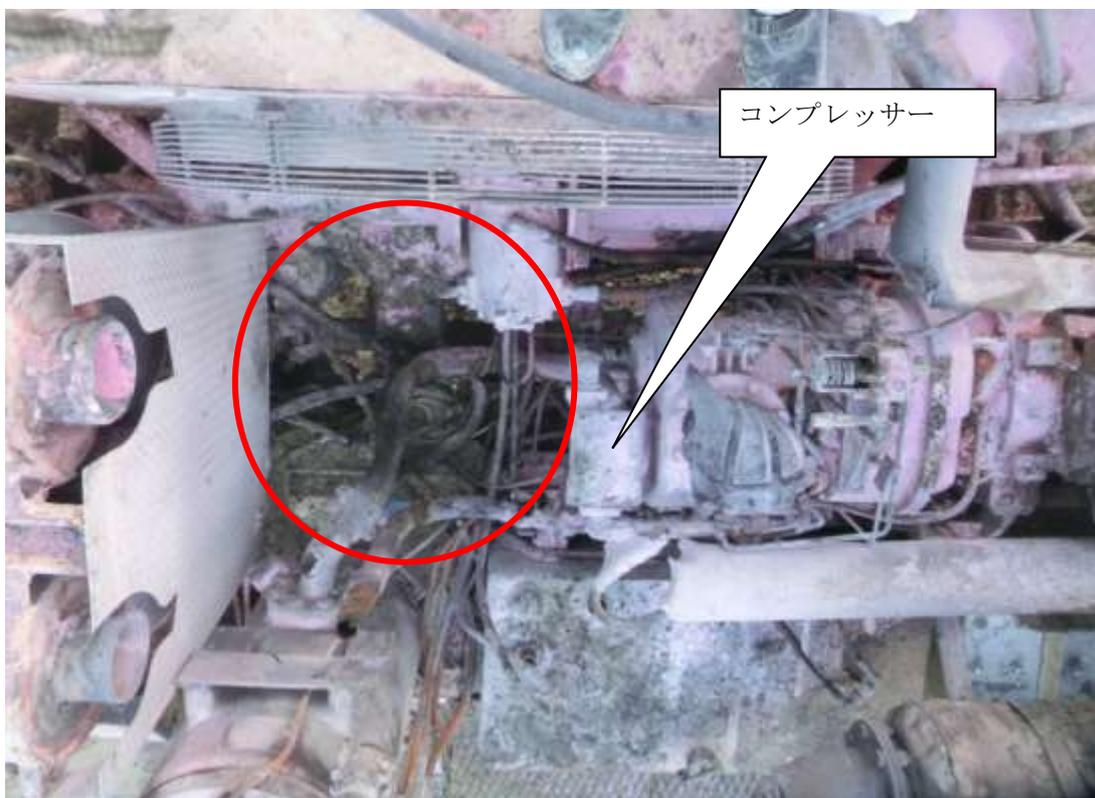
火災発生箇所



穿孔機



火災のあった箇所（上から見たもの）



同上 火災箇所



破損ホース

